

学年：4年	単元名：どんな計算になるのかな
-------	-----------------

1. 単元目標：(全 1 時間)

○加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。

考判表・問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。

・既習事項の活用。

知・技・適切な立式をして問題を解決することができる。

2. 指導内容

・加減乗除についての演算決定

3. 指導のポイント

○問題を解くためには、

・指導者が3回読む。(時間的経過を守る。)

・動作化をしながらイメージをつくり、順に図にかいていく。

演算決定をするために、どんな手段をとればいいのか選択できる子供を育てたい。

動作化・情景図・線分図・数直線図 など

かかなくても動作化でわかる場合がある。

・図を見ながら立式をして答えを出す。

・図は、①簡単 ②はやい ③わかりやすい ←図の質を上げていく。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○場面の様子を頭の中にイメージして、適切な方法を選んで問題を解決しよう。(P98/99)

1. 動作化・イメージ化

2. 情景図・線分図

3. 倍の数直線図・数直線図

※前単元で数直線図を指導していれば、定着をはかるために数直線図を中心に指導する。

①動作化か数直線図

②動作化か数直線図。要素過剰の問題。

③加減乗除が入るので、数直線図になる。かき方も難しい。

情景図で考えさせるのもよい。

④加減乗除が入るので、数直線図になる。かき方も難しい。

$500-198=302$ ←これを出してから数直線図にしてもよい。

情景図で考えさせるのもよい。

⑤動作化か数直線図

⑥数直線図。必要となる道のり(36×2)が、示されていない。

⑦動作化か数直線図

⑧面積を求めるというより単位の換算。

⑨動作化。

⑩動作化か数直線図。

WS を利用してもよい。

○加減の問題は、線分図か情景図。乗除の問題は、数直線図。

○加減乗除の問題は、数直線図か情景図。

○動作化→イメージ化→情景図という方法が、視覚的にとらえやすい。

○数直線図は、「数の処理」が、主となるので、視覚的にとらえにくい。

○数直線図は、アルゴリズムを獲得すれば、機械的に答えが出てくる。イメージできないのが欠点であるが、正答しやすい。